

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成21年9月25日

施設名	高知県立歴史民俗資料館	所管課名	文化生活部 文化・国際課
-----	-------------	------	-----------------

1 施設の概要

指定管理者名	財団法人高知県文化財団	指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日 平成21年4月1日～平成26年3月31日
施設所在地	南国市岡豊町		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県の歴史、考古及び民俗(以下「歴史民俗等」という。)に関する資料の収集、保管及び展示 ・歴史民俗等に関する専門的な調査研究 ・歴史民俗等に関する講演会、講習会、研究会等の教育普及活動 ・高知県における文化財の保存、活用の推進 ・上記のほか、歴史民俗資料館の設置の目的を達成するために必要な業務 		
施設内容	<p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p><建物> 延床面積4527.47㎡ RC造地上3階建 <土地> 124,520㎡ <主要施設> 常設展示室、企画展示室、体験学習室、AVホール、収蔵庫、燻蒸室、研究室、会議室、資料室など <開館時間> 午前9時～午後5時 <休館日> 12月27日～1月1日 <主な料金> 常設展 一般450円 ※高校生以下、高知県長寿手帳所持者(65歳以上)は無料 施設利用料 企画展示室23,470円(1日) AVホール14,990円</p>		
職員体制	特別職非常勤: 1人 常勤職員: 8人 契約職員: 9人 合計: 18人		

2 収支の状況

単位: 千円

		平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	平成21年度(予算)
収入	県支出金	159,372	158,540	164,805
	事業収入	7,991	7,694	8,581
	その他	339	3,800	0
	収入計	167,702	170,034	173,386
	(事業収入)注1			
支出	事業費	24,552	31,486	26,015
	管理運営費	136,010	139,153	147,371
	(うち人件費)	(80,640)	(90,799)	(101,198)
	その他	6,726	4,004	0
	支出計	167,288	174,643	173,386

3 利用状況

		平成19年度実績	平成20年度実績	前年度比
①年間利用者数(単位:人)	常設展	3,258人	2,924人	-334人
	企画展	28,221人	19,428人	-8,793人
	合計	31,479人	22,352人	-9,127人
	<p><利用実績> 利用者数で見ると、前年度比9,127人減の22,352人に減少している。これは、前年度企画展「なつかしのおもちゃ」展に想定以上の10,300人の来館者があり大幅に利用が増加したことによるもので、企画展は想定来館者数19,300人を達成している。しかし、常設展については想定数3,800人を下回っている状況にあり、平成21年度に常設展示室のリニューアルを行うこととでリピーターを増やし来館者の増を目標としている。</p>			

②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者アンケートによる企画展・館内対応等の意見に対し、可能な部分はすみやかに改善をし、また、検討を要する部分については、館内の委員会で検討し、改善に向け取り組んでいる。 ・アンケート以外にも、来館者と対話の機会を持ち、ニーズの把握に努めるほか、県内各地域に委嘱している「資料調査員」等からニーズを収集し、館の運営に反映している。また、最近はEメールによる意見も多い。 ・アンケートにおいて、館に期待する項目として最も多く意見のあった「常設展の充実」に対応するため平成21年度には、常設展示室のリニューアルに取り組むこととしている。 <p>○ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史民俗資料館運営協議会(外部委員:年2回)や資料収集委員会(年1回)を開催し、事業等の評価や委員からの意見・提言をもとに管理運営の改善に繋げている。 ・クレーム情報は館内回覧を行い、事実の把握のもとに改善に努めている。 ・アンケート等の意見・クレームは、できる限り本人宛に文書で回答している。また、ホームページ「お客様の声広場」に回答を公開している。 																									
③その他特記事項	<p>・①の館の利用のほか、以下の活動を行った。</p> <table border="0" data-bbox="518 696 1404 846"> <tr> <td>[教育普及事業]</td> <td>講演会</td> <td>3回(127人)</td> <td>講座</td> <td>5回(159人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>展示室トーク</td> <td>8回(81人)</td> <td>史跡めぐり</td> <td>3回(126人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ワクワワーク</td> <td>16回(828人)</td> <td>職場体験</td> <td>1校(3人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>派遣授業</td> <td>9校(600人)</td> <td>学校来館対応</td> <td>83校(3,905人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高知の食文化を味わう～食のころ～</td> <td>12回(592人)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	[教育普及事業]	講演会	3回(127人)	講座	5回(159人)		展示室トーク	8回(81人)	史跡めぐり	3回(126人)		ワクワワーク	16回(828人)	職場体験	1校(3人)		派遣授業	9校(600人)	学校来館対応	83校(3,905人)		高知の食文化を味わう～食のころ～	12回(592人)		
[教育普及事業]	講演会	3回(127人)	講座	5回(159人)																						
	展示室トーク	8回(81人)	史跡めぐり	3回(126人)																						
	ワクワワーク	16回(828人)	職場体験	1校(3人)																						
	派遣授業	9校(600人)	学校来館対応	83校(3,905人)																						
	高知の食文化を味わう～食のころ～	12回(592人)																								

4 平成20年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①管理運営に関する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地味な館、遠い所というイメージを見事に塗り替えた活動を高く評価する。 ・経営努力が成果に繋がっていることを評価する。 ・施設及び設備の管理は適正に行われているが、収蔵庫の既収容量が満杯に近いため、今後の資料の収集を考えた場合、施設の有効活用を支障が生じる可能性がある。資料の適正な管理と連動していることなので、今後、検討が必要。 ・資料の監理と修復作業によく努めていることを評価する。 ・図録は手頃な値段でコンパクトにまとめてあり、わかり易い。
②事業の実施(企画及び運営)に関する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・企画面での努力がみられる。 ・企画展は創造性に富み、県民の関心を誘うもので、情熱を感じられる企画を評価する。 ・味元家住宅の屋根葺き替え作業は、住民も巻き込んだ郷土を見直す良い事業で、茅葺き体験ボランティアの企画はPR活動としても役立った。
③総体的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の課題をしっかりと改善していた点は評価できる。 ・岡豊山の国指定史跡指定を契機とした取り組みや館内から館外へ、館単独から他の機関・施設との連携に力を入れる等の前向きな姿勢が評価できる。 ・取り組みが大きく進展した。イメージが変わる程の活動だった。
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地味で不便な館という負の面を見事に克服して一種の“はなやぎ”すら感じられ、帰りは満ち足りて、また来ようと思えるような場所になった。 ・企画展では、食、お正月など、大事にしたい文化を工夫して取り上げるなど、企画展の内容が良かった。 ・企画展と学芸員等の研究を特に評価する。 ・学校教育との連携が一層向上してきている。 ・体験学習(勾玉作り、火起こし等)は、教師間においてもたいへん好評で、広報も活発に行われるようになったので存在感を強く感じている。 ・異業種交流、地域への影響、教育振興など様々な面で努力が見られる。しかし、館に来て、気持ちよく帰れるかどうかは、ソフト面でのサービスが重要となるので、更なる充実を期待する。 ・長宗我部家の家紋が入った手ぬぐい等(例)、実用的で持ち帰り易い品の開発などによる、物販コーナーの充実を期待する。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※評価項目ごとの評価内容

評価項目	評価	特記事項
1 管理運営の基本方針(総括)	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆前年度の課題をしっかりと改善していた点は評価できる。 ◆岡豊山の国指定史跡、館内から館外へ、単独から連携へ等、前向きな姿勢が良い。 ◆茅葺き体験ボランティアの企画はPR活動に役立った。 ◆取り組みが大きく進展した。イメージが変わる程の活動だった。
① 平成20年度の歴史民俗資料館の管理運営(事業)にあたって、どのような方針を立て、どう結果をだしたか。		
② 平成19年度事業評価の結果を踏まえ、どのように取組んできたか。		
2 事業を通じて県民の創造活動の支援、文化振興への寄与ができたか	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆企画展は創造性に富み、県民の関心を誘うものであった。情熱を感じられる企画を評価する。 ◆地味な館、遠い所というイメージを見事に塗り替えた活動を高く評価する。 ◆味元家住宅の屋根葺き替え作業は、住民も巻き込んだ郷土を見直す良い事業であった。
(1) 展覧会事業の実施		
① 企画展の実施回数及び常設展を含む展示内容、集客目標と観覧者数等の状況	A	<ul style="list-style-type: none"> ・異業種との連携型活動が出来たことを評価する。特に、カツオ展等が興味深かった。 ・意外と思える企画もあり、高く評価する。
② 理解促進の取組の状況		
③ 展覧会事業についての特記事項		
(2) 教育普及事業その他の事業		
① 事業の内容、件数、参加人数の状況	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育普及によく努力しており、今後、一層の活動の充実を期待する。
② 教育普及事業その他の事業についての特記事項		
(3) 事業を通じた創造活動・文化振興の支援		
① 子どもが歴史文化に親しみ感性を育む取組	A	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史館オリジナル切手シート、出張郵便局が新規ファンを発掘した。子供や高齢者にも配慮のある活動をしている。 ・今後、食文化に関する民俗ものをもっと深く広範に行っていけば、さらに良くなる。
② 高齢者や障がい者が利用しやすい取組		
③ 地域の文化活動との連携・支援		
④ 施設の活用		
(4) 県民の視点にたった運営		
① 歴史民俗資料館の活動や歴史文化についての情報提供	B	<ul style="list-style-type: none"> ・カルチャーサポーターの多さが示すように、県民の視点に立った運営がされている。 ・受付、カルチャーサポーターは笑顔で接客し、感じがよい。来館者からの挨拶や問いかけなどに、職員全員がより敏感に反応ができるようになれば、さらに良くなる。
② 利用者、県民へのレファレンスの状況		
③ 県民参加の活動		
④ 県内の文化施設との連携		
3 資料の適正な管理と活用ができたか	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料の管理と修復作業によく努めていることを評価する。 ◆図録は手頃な値段でコンパクトにまとめてあり、わかり易い。 ◆収集する資料の数が多く、収蔵庫の収容力にやや不安がある。
(1) 資料の収集及び保存管理		
① 資料収集の状況	A	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の管理・修復は、よくやっている。
② 資料の修復		
③ 保存環境の維持		
(2) 資料の効果的な活用		
① 資料データの管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の効果的な活用のためには、膨大な資料の整理が課題である。
② 所蔵資料の活用の状況		
③ 調査研究と成果の公表		
4 効率的な運営とサービスの向上が図れたか	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆学芸員人材は宝であり、彼らが育つ環境を作ったことを評価する。 ◆経営努力が成果に繋がっていることを評価する。
(1) 経営努力		
① 収入増加の取組	A	<ul style="list-style-type: none"> ・企画面での努力がみられる。 ・条件の悪い中で努力していることを評価する。
② 経費縮減の取組		
(2) サービス向上への取組		
① 自己点検・評価の状況	B	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高い職員がおり、概ねサービスも的確であるが、説明板に専門用語が多く使われており、わかりにくい。その点を改善すれば、さらに良くなる。
② 事故、クレームへの対応		
③ 職員の専門性の向上		
④ その他のサービス改善事項		
(3) 社会的責務		
① 専門人材の育成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・岡豊、笠ノ川地区に史談会の芽がみられる。 ・平尾賞の取れる学芸員を育成した。
② 県内の文化施設を牽引する取組		
③ 法令・規程等の遵守		
5 施設及び設備の管理は適正に行えたか	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設及び設備の管理は適正に行われているが、収蔵庫の既収容量が満杯に近い。今後の資料の収集を考えた場合、施設の有効活用に支障が生じる可能性がある。資料の適正な管理と連動しており、今後、検討が必要。
(1) 建物や設備の管理状況		
① 点検・修繕の実績	B	
② 第三者への業務委託の状況		
(2) 危機管理		
(風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策、マニュアル作成や職員研修など)	B	
総合評価	[評価委員の意見]	
A	<ul style="list-style-type: none"> ◆地味で不便な館という負の面を見事に克服して一種の“はなやぎ”すら感じられ、帰りは満ち足りて、また来ようと思えるような場所になった。 ◆企画展では、食、お正月など、大事にしたい文化を工夫して取り上げるなど、企画展の内容が良かった。 ◆企画展と学芸員らの研究を特に評価する。 ◆学校教育との連携が一層向上してきている。 ◆体験学習(勾玉作り、火起こし等)は、教師間でもたいへん好評で、広報も活発に行われるようになったので存在感を強く感じている。 ◆異業種交流、地域への影響、教育振興など様々な面で努力が見られる。しかし、館に来て、気持ちよく帰れるかどうかは、ソフト面でのサービスが重要となるので、更なる充実を期待する。 ◆長宗我部家の家紋が入った手ぬぐい等(例)、実用的で持ち帰り易い品の開発などによる、物販コーナーの充実を期待する。 	

※評価の段階の目安

- 「A」 計画や目標を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされた
- 「B」 概ね計画や目標どおりであり、適正な管理運営・事業の遂行がされた
- 「C」 計画や目標に達しない面があり、改善のための工夫や努力が必要
- 「D」 管理運営・事業の遂行が適正に行われたとはいえず、大いに改善を要する